

## 古橋 智樹 議員

**Q** 大人世代に対する愛郷心の取り組みについて

**A** 地域への愛着を深めてもらえる仕組みの構築と支援を実施しております

**Q** 地域を担う大人の世代、生産人口の世代にどのようなふるさとを愛する取り組みをしているか伺う。

**A** 市長 10代から40代までの世代が、高校生会、成人式実行委員会、大人クラブへと活動ステージをスライドして地域への愛着を深めてもらえるような仕組みの構築と支援を実施しております。さらに、筑波山地域ジオパークの活動理念「みんなに愛される地域づくり」の実現を目指すため、郷土愛を育む活動を積極的に推進してまいります。

**Q** 少子高齢化が進み、市の事業を縮小廃止しなければならないやむを得ない状況もあるかと思うが、どのように考えているのか。

**A** 市長公室長 少子高齢化が急速に進み、社会保障費などの義務的経費が増加することは確実な状況であります。また、老朽化が進む公共施設などの維持管理において、修繕や改修に要する費用が増加していくことが見込まれています。このような状況下においても、市民ニーズに直結した合理的な事業の再構築と、新たな事業への投資、近隣自治体との広域連携など、将来を見据えた事業に着手していかねばならないと考えております。

### 質問事項

**21** 義務教育後のかすみがうら愛郷心として市の自負をかすみがうら市の子ども達に将来負担を減らせるか、少子高齢化に財政縮小事業廃止が困難ならば次なる合併の選択は



▲高校生会の様子

## 宮嶋 謙 議員

**Q** 霞ヶ浦南小学校プールの水温対策について

**A** 運用面での改善を図り、プール授業の実施にあたります

**Q** プールに構造的な問題があるとすれば、運用面だけで何とか乗り切ってみようという考え方は、本気でこの問題を解決する姿勢とは思えない。屋根を光が通るものに変えるとか、ろ過装置にボイラーを付けるなど、実際に水温を上げる方策が必要ではないか。

**A** 教育部長 屋根を透過性の部材に変えるということに関しては、見積もりを徴しているというところはございません。あわせて、建築基準法上の調査等も必要になってくるかと思うのですが、そういったものもご指摘を受けまして今後の課題とさせていただきます。まずは、運用面での改善を図り、プール授業の実施にあたってまいります。

**Q** 経済的にも有利だとして霞台厚生施設組合で新・ごみ処理施設の建設計画を進めているが、新規建設よりも既存2施設を長寿命化したほうが、年間1・7億円以上も経済的である可能性が明らかになった。既存施設の長寿命化について、管理者会議で改めて協議すべきではないか。

**A** 市長 現在、霞台厚生施設組合において、事業者を選定し、入札準備の段階でありますことから、私の立場から新たに提言することは難しいものと考えております。

### 質問事項

**321** 霞ヶ浦南小学校プールの水温対策について  
当市のゴミ処理行政について  
市街地の高齢化対策と地域コミュニティの活性化について



▲霞ヶ浦南小学校プール

## 田谷 文子 議員

**Q** 児童生徒数減少対策としての義務教育学校（小中一貫教育）の早期実現について

**A** 他の自治体において地域の実情に即した多様な取り組みがされており十分な検討が必要であると認識しています

**Q** 児童生徒数減少対策としての義務教育学校（小中一貫教育）の早期実現と千代田中学校地区4小学校統廃合の見直し計画について、その進捗状況と平成29年度以降の計画について伺う。

**A** 市長 小中一貫教育については、他自治体において地域の実情に即した多様な取り組みがなされておりますので、本市でも十分な検討が必要であると認識しております。また、現在、教育委員会において適正規模化実施計画を見直し、小中一貫教育の検討と、千代田中学校の現状と課題を小学校統廃合と並行して進めてまいりたいと考えております。

**Q** 地域コミュニティに基づくまちづくりと千代田中学校地区の4小学校の統廃合問題について、具体的な計画を伺う。

**A** 市長 平成28年度から中学校単位の地域コミュニティづくりが進められております。千代田中学校につきましては、これまでも地域の中心を担う存在として、地域の皆様と歩んできた経緯があり、今後、どのような中学校のあり方が適当であるのか様々な角度から検証し、地域の皆様の意向を十分に踏まえた中で判断していくことが肝要であると考えております。

- 質問事項**
- 1 本市のまちづくりとしての千代田中存続の必要性について
  - 2 かすみがうら市（特に千代田中地区）における人口減少及び児童生徒数減少対策としての義務教育学校（小中一貫教育）の早期実現の必要性について
  - 3 職場における女性の働きやすい職場環境づくりと人材活用及び登用について



▲千代田中学校

## 矢口 龍人 議員

**Q** 人口減少に歯止めをかける政策について

**A** 市街化調整区域における区域指定の見直しなどを進めてまいります

**Q** 市街化区域に比べ市街化調整区域の人口減少は危機的な状況にあるが、歯止めをかける政策について伺う。

**A** 理事 人口減少が著しい市街化調整区域におきましては、都市計画法に基づく区域指定を進め、集落における人口規模の維持を図ります。また、人口が集中する市街化区域におきましては、都市機能のさらなる集約を図り、住みやすい街づくりを目指してまいります。

**Q** 下稻吉中地区の公共施設を複合施設に集約することで、行政サービスの向上が図られると思うが、市の考えを伺う。

**A** 総務部長 公共施設の最適化に向け、使えるものは使い切るという有効活用を念頭に、当面の間は今ある施設を市民ニーズに対応できるよう検討を進めてまいります。なお、施設の老朽化に伴い、今後、大規模な改修や建て替えが必要となるときは、施設の集約化や複合化を検討する必要があると考えております。

- 質問事項**
- 21 人口減少対策と地方創生事業について  
全市的義務教育学校（小中一貫教育）の早期実現並びに下稻吉中地区複合施設（中学校・コミュニティセンター・図書館）整備の必要性について



▲働く女性の家

## 佐藤 文雄 議員

**Q** 新ごみ処理施設に係る初期費用について、どうも膨れ上がるのか伺う

**A** 現時点では組合でも総予算額の見通しを見極め切れていないと聞いております

**Q** 霞台厚生施設組合は、新ごみ処理施設建設及び運営等に関わる事業費など総額33.9億2280万円の債務負担行為を提出。同組合議会は賛成多数で可決しましたが、新ごみ処理施設に係る総予算を示していません。イニシャルコスト（初期費用）はどこまで膨れ上がるのか。

**A** 環境経済部長 新ごみ処理施設に係る総予算は、施設整備費のほか周辺道路整備事業の見込み額5億円、還元施設整備として6億円を想定していると思いますが、売電するために必要な東電関係整備費用、中間置き場の配置方法、解体等の費用など変動経費発生の可能性が多くあるため、現時点では組合でも総予算額の見通しを見極め切れていないと聞いております。

**Q** 平成30年3月末に閉所予定のさくら保育所の残存価値は車庫を含め約2億2千万円。解体費が加われば市側にとっては相当な損失となると思うが？

**A** 保健福祉部長 同保育所が借地であれ市の所有地であっても、いずれ解体するものと考えております。現状においても他の保育施設と比較し維持管理費がかさんでいる状況です。さらに今後は老朽化による修繕も必要になるところです。

### 質問事項

- 1 新たな広域ごみ処理施設建設問題について
- 2 さくら保育所の閉所と保育の公的責任について
- 3 下土田の残土問題について
- 4 上下水道事業について



▲さくら保育所

## 設楽 健夫 議員

**Q** 職員のセクハラ、パワハラの対応について

**A** 働きやすい職場環境づくりに努めてまいります

**Q** 朝方の酒気帯び運転検挙、あるいは無記名で調査された職員のセクハラ、パワハラの実態は、政治倫理条例の制定を喫緊の課題としているのではないか。

**A** 市長 政治倫理条例制定の方向となった場合、弁護士との意見や旧霞ヶ浦町の条例・近隣市町村の条例等の内容を参考に、条例案を制定することとなるものと思料されます。

また、無記名アンケートでセクハラを受けたと感じた経験があると答えた職員は回答者の約5%（14人）、パワハラを受けたと感じた経験があると答えた職員は回答者の約19%（49人）の結果です。研修等によって、働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。

**Q** 平成29年4月開始介護予防・日常生活支援総合事業の施策、地域包括支援センター、社会福祉協議会を核とした推進体制について近隣市格差是正策と課題を伺う。

**A** 保健福祉部長 介護予防・日常生活支援総合事業は、市単位で事業を実施、多様なサービスは住民グループや事業所数など地域資源の違いから、近隣の市とサービスに差が出ることも考えられます。地域資源等をさらに把握し、近隣市と同等のサービスを提供できるよう努めてまいります。

### 質問事項

- 1 市民協働の前提となる政治倫理条例―政治倫理審査会の設置とコンプライアンス違反（繰り返される早朝酒気帯び運転検挙等）について
- 2 全市バランスある文教・厚生行政の展開について―義務教育学校（中学校区小中一貫教育）の整備等について
- 3 逆西排水整備計画と菱木川水源確保及び一の瀬川水源の鶴沼水門管理について
- 4 霞ヶ浦一橋への接続道路設定と第一橋―県道穴倉玉里線整備及び西成井バイパス開通工事について





## 来栖 丈治 議員

**Q** 不正ヤードの防犯上の対策について

**A** 盗難被害防止のための意識啓発に努めてまいります

**Q** 多発する自動車、農機具などの盗難品の一時保管場所や解体作業場所になっているといわれる、いわゆる「ヤード」について、防犯上の観点からその対策を伺う。

**A** 総務部長 茨城県では、多発する自動車盗難などの温床といわれる不正なヤード対策を目的とするヤード規制に関する条例が平成29年4月から施行されます。市といたしましても、自動車や農機具などの盗難が多発していることなどを踏まえ、警察と連携し、盗難被害防止のための啓発を関係者団体などにも協力しながら意識啓発に努めてまいります。

**Q** 霞ヶ浦南小学校プールの問題について、太陽熱などを活用した加温対策としてはどうか。

**A** 教育部長 自然エネルギーを活用した設備は天候に左右され安定した供給ができないため、プールのような大量の水を単体で温水化することは難しいと思われます。サポート的な役割で有効活用することは可能ではないかと考えております。しかしながら、水温の上がない寒い時期の設備でありますことから十分な検証が必要ですので、まずは、運用面の改善に努めてまいりたいと考えております。

### 質問事項

**4321** 行財政改革の推進について  
地域包括支援センターの機能向上について  
市内のヤードに対する防犯対策について  
霞ヶ浦南小プール水の加温対策について



## 本会議の録画放映をスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます

平成29年6月21日（水）から平成29年第1回臨時会（1月27日開催）以降の本会議の録画放映をスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけるようになります。なお、平成28年12月定例会までの録画放映についてはこれまでどおりパソコンでご覧ください。

※詳細は随時市議会ホームページでお知らせします。



▲録画放映イメージ

## 委員会活動

### 文教厚生委員会

○閉会中に行われた委員会

調査内容

（4月19日開催）

●千代田中学校区統合小学校整備に係る当面のスケジュールについて  
●さくら保育園閉所に伴う民間事業者協議進捗状況について